

妊娠したら歯科健診を!

●妊娠したら“3つの変化”で、「むし歯」「歯周病」にかかりやすくなります。

①女性ホルモンの変化

歯周病菌が活性化され、歯ぐきが赤く腫れたり出血もおこりやすくなります。(歯肉炎・歯周炎)
また、唾液の量が減少することでお口の中が酸性に傾き、むし歯にかかりやすくなります。

②食生活の変化

つわりの影響で、食の好みが変わったり回数が増えたりすることがあります。

③清潔習慣の変化

食べる回数が増えることでお口の中が汚れやすくなったり、つわりや体調が悪いことでいねいに歯磨きができなかったりします。



●歯周病は早産・低出生体重児出産のリスクを高めます。



歯周病

MEMO

歯周病にかかっていると、患部から毒素や炎症をひきおこす物質が血液中に入り、胎児の成長に影響を与えたり、子宮の収縮を促すなどして、早産(37週未満)や低出生体重児(2500g未満)出産のリスクが高まることが明らかになっています。

妊娠をきっかけに、ぜひお母さんのお口の健康を考えてみましょう。

まずは、自分のお口の状態を知るためにも、歯科医院で「妊婦歯科健診」を受けましょう。併せてブラッシング指導やお口のクリーニングを受けることで歯周病予防につながります。

妊娠4か月の終わりから8か月は安定期とされているため、ある程度の歯科治療も問題ありません。

お腹の赤ちゃんにも安心ですね!



※妊娠中に1回、無料で歯科健診を受けることができる“受診券”を母子健康手帳交付時にお渡ししていますのでご活用ください。